

第3章

自由意見

第3章 自由意見

本調査において、意見・要望等の自由意見欄に180人の回答があり、年代別に主な意見・要望等を抜粋しました。なお、基本的に記述通りとしています。

| 年代 | 回答内容 |
|-------|---|
| 20歳未満 | ヤングケアラーの支援を拡大していただきたいです。 |
| | 教育の場での差別への早期の理解を促してほしい。 |
| 20歳代 | パートナーシップでなく、性的マイノリティの同性婚を認めてほしいです。G7で同性婚が認められていないのは日本だけで、この国ではLGBTをないがしろにしていると感じます。理解が遅れています。法を整備していくことで、同性でも養子や人工受精などで子どもを持ったりできるので、少子化の対策にもなると思います。 |
| | 人権問題の根本的なものの一つに、家庭での教育不足があると思う。複数世帯での生活が少なくなってきたのもあり、祖父母からの教育機会が減り親から子への教育の質も下がっていると感じる。道徳で得られる常識や礼儀作法、差別なども含む物事への関心と考え方は、家庭での教育が根底にあると思うので、家庭での教育の質の向上に力を入れるべきだと思う。そのためにまずは親へ、親から子への教育について理解し実践してもらうことが大切だと思う。 |
| | 逆差別とならないように様々な思想を持つ人々が、自分らしく生きていける社会を形成していくことを期待しています。 |
| | 人権問題について関心をどのようにしてもたせるか、が1番難しく重要なことだと思います。偏見は曖昧な知識から生まれるものなので取り除くのが難しいので、早急な解決は不可能だと思います。今の人々の関心より、若い人々の関心を獲得する方が大事であると思いますので、義務教育内で人権問題についての深い知識の教育を推進すると、人権問題についての未来は少しは明るくなるのではないかと思います。 |
| 30歳代 | 人権問題に関する正しい知識を持っている大人が少ないように感じるのでメディアで取り上げる機会を増やしたり、職場での研修の場を設けることを義務化するなど対策を取っていただきたい。大人が正しい知識を持っていないと、子どももその大人と一緒に差別がなくならないように感じる。 |
| | 自分自身、LGBT等について最近関心を持ち、ニュースをよく見たり、本や、そのような内容を扱った映画などを見て、特別なことではない、と思いつつある。しかし、それは自分がある程度関心をもって知識を得ようとしているからであって、どんな問題や差別に対しても関心を持つとしなければ、一生差別等はなくならないと思う。 |
| | 差別と区別とは違うので、それについてあらためて考えました。知らないがゆえに差別とはなっていないことも多くあるが、知らない間に傷つけていることもあるのかも。 |
| | 人権問題は自分自身が被害を受けていないと、他人事のように思い、関心を強くもつことが難しいです。そういった人達を、いかに関心をもってもらう取組を行えるかが課題に思います。 |
| | 小さい頃からの教育と啓発の継続。 |
| 40歳代 | いくら差別を法律で取り締まっても、差別をする人の意識は簡単には変わらないと思う。今、学生や差別を受けやすい環境の人に対して、理解を十分にしてもらうことが大切だと思う。時間をかけてゆっくりと「人権」が尊重される世の中になっていけば良いと思う。 |
| | 学校教育の充実が必要だと思います。成長する過程で、多様な人々との共生や、相手を尊重する考え方を自然に身につけられる方が、後から強制的に「これが正しい人権なんだ」と教えられるよりも、より受け入れ易いと思います。大人になってからはなかなか考え方を変えられないことが多いので、大人向けの活動はもっと馴染みやすい、とっつきやすい講演や講師の人選が必要ではないかと思います。「聞きたくなる」「おもしろい」講演会であれば、大人の参加ももっと増えると思います。 |
| | もっと国民の一人一人の意識が高まるように啓発活動を充実してほしい。 |
| | 義務教育の中で根付かせることが大切だと思います。 |
| 50歳代 | 人権教育は学校だけでなく、社会人になっても必要だと思う。大人の社会こそ、研修など何度も教育すべき。 |
| | 永遠のテーマかと思う。人間社会が続く限り絶対に無くならない問題だと思う。人権教育はもちろん大事。むしろ幼少期から世の中にはいろんな人がいるということを身をもって経験する、身の回りにそういう方がいるということを体感すれば少しはわかるのではと思う。 |

| 年代 | 回答内容 |
|-------|--|
| 50歳代 | 講演会、研修会などを多く開催してほしい。 |
| | 人権の尊重はもちろん大切だと思うが、義務があつての権利なので、両面を重視した教育が必要だと思う。 |
| 60歳代 | この調査に回答しているうちに、もっと人権問題について考えていこうと思いました。関心を持っていきたいです。 |
| | 立派なポスター・ちらし・冊子を作っても、手に取って読む人は少ない。やはり、幼い頃からの教育が大切だと思います。学校での人権教育を丁寧に行うべきです。 |
| | 今回の設問では、日本にいる外国人の人権があたかも侵害されているかのような書き方になっているが、前提が間違っていると思う。実態は、在日韓国、中国人に対して、行政側が無秩序に権利を認めており、逆に日本人の人権が侵害されている実例が多々あるように感じる。部落差別にしても、差別の存在を前提にしているが、同和系団体、企業の乱暴・狼藉に対して行政側は何もいえず、やりたい放題にさせているのが自治体の実態である。在日外国人、被差別部落民の差別を問うなら、日本人に対する逆差別の設問も設けるべきである。 |
| 70歳以上 | 差別がどうのと、一つ一つあげつらうのではなく、教育水準を高めて、他人を思いやれる豊かな心を持つ人間に育てることが必要。 |
| | とても難しい問題であり、このアンケート（意識調査）を手にして自分は何も行動をおこしていなかったことを反省しました。 |
| | 人権教育は大変難しいと感じます。私たちが子どもの頃は学校で「道徳」の授業がありました。IT等先進授業も大事ですが、人の心をおもいやる先生と、環境をつくってほしいです。 |
| | 小学生のときから、十分な認識と人権に対する考え方を教育する必要があると考えます。 |